



校 報 徳田っ子

平成 29 年 7 月 24 日 (月)

第 8 号

矢巾町立徳田小学校



1 学期終了 有意義な夏休みを

今日で 74 日間の 1 学期が終了しました。ピカピカのランドセルを背負った 22 名のかわいらしい 1 年生を迎え、167 名でスタートした 4 月。運動会を成功させようと競技や応援、係活動などに力を合わせた 5 月。修学旅行や野外活動、遠足などそれぞれの学年でめあてをもって取り組んだ 6 月。1 学期のまとめとして学習の定着や生活面の課題克服に取り組んだ 7 月。どの月もそれぞれの学年でめあてをもち、振り返りしながら成長の足跡を残してきました。大きな事故もなく、児童が明るく元気に学校生活を送ることができたのも、保護者・地域の皆様のご理解ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。



さて、明日からは 24 日間の夏休みです。自主的に自分の生活を計画し、自発的な生活リズムの習慣化に努めるとともに、「夏休みだからできること」にチャレンジする夏休みであってほしいと願っています。何より事故なく過ごせるよう、学校から配布した「夏休みの過ごし方」を家庭で確認くださるようお願いいたします。

休み明けには、心身ともに健やかに、一段とたくましくなった子供たちの姿が見られることを楽しみにしています。

休み中、特にお願いしたいこと

1. 自転車の乗り方

今年度、町内小中学生の自動車との接触事故が多発しています。自転車の乗り方、自転車での行動範囲など確認をお願いします。

2. 友達との遊び方

お金の貸し借りや、おごる、おごられることはしない。また、大人のいない家では友達と遊ばない約束になっています。

3. テレビやゲーム等の時間

特に心配なのは、生活リズムの乱れです。テレビの視聴やゲーム機等の使用のルール確認をお願いします。

「人やものへの思いやり」の心を



7 月 4 日 (火)、矢巾町の人権擁護委員の方から人権啓発活動の一環として、人権啓発標語を掲げた花植プランター 9 個をいただきました。業間

時間に行われた贈呈式には、全校を代表して JRC 委員会が参加しました。式の中で人権擁護委員の門田勝利さんから「まず自分を大切にすること、そして人やものへの思いやり、小さな動植物でもかけがえのない命を守っていきこうという気持ちをもってほしい。」とのお話をいただきました。最後に、児童を代表して JRC 委員長の山本夏生さんが「ありがとうございます。みんなで協力して大切にお世話していきます。」と感謝の言葉を述べました。

プランターは正面玄関に置いてあります。学校においでの際は、花の美しさとともにプランターに書いてある人権啓発標語にも目を止めていただければと思います。



7 月 14 日 (金) 5 校時、NTT ドコモの高橋インストラクターを講師に迎え、5・6 年生を対象とした「スマホ・ケータイ全教室」を開催し、スマートフォンや SNS、インターネットの便利さと注意点について学びました。特に、写真には個人情報がたくさん載っていることや、メール、LINE など文字だけのやり取りでは感情や思いまで伝わりにくいことを具体例をもとに学ぶことができました。自分ではスマホ等を持っていなくても、使った経験のある児童が多いため、夏休み前の貴重な学びの場となりました。